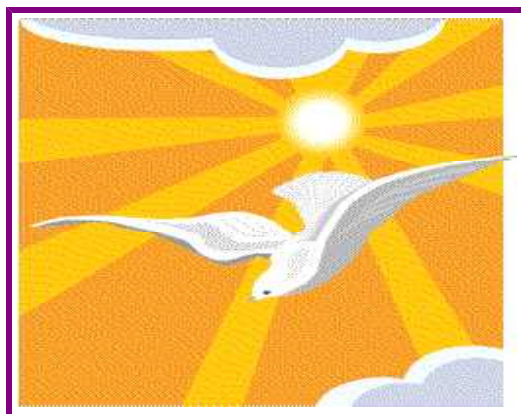


めぐみイエス・キリスト教会

2020年6月21日(日)第三主日礼拝
週報「通算第511号」



2020年標題聖句

第I テサロニケ5章16節～18節

《いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2020年6月21日 第三主日礼拝 午前10時
司会 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌361「栄えの王にます主の」 p. 578

【交読文】 No.56 ローマ人への手紙第12章 p. 924

【賛美Ⅱ】 新聖歌420「雨を降り注ぎ」 p. 676

【使徒信条】 【主の祈り】 【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル賛美No.5 「聖霊の風」

【聖書朗読】 使徒の働き2章22節～33節(2017新約p. 235上段)

【礼拝説教】 《ペテロの説教から(その二)》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌198「God Bless You」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所「使徒の働き」2章22節～33節

2:22 イスラエルの皆さん、これらの言葉を聞いて下さい。神はナザレ人イエスによって、あなたがたの間で力あるわざと不思議としるしを行い、それによって、あなたがたにこの方を証しされました。それは、あなたがた自身をご承知のことです。

2:23 神が定めた計画と神の予知によって引き渡されたこのイエスを、あなたがたは律法を持たない人々の手によって十字架につけて殺したのです。

2:24 しかし神は、イエスを死の苦しみから解き放って、よみがえらせました。この方が死につながれていることなど、あり得なかったからです。

2:25 ダビデは、この方について次のように言っています。『私はいつも、主を前にしています。主が私の右におられるので、私は揺るがされることはありません。』

2:26 それゆえ、私の心は喜び、私の舌は喜びにあふれます。私の身も、望みの中に住まいます。

2:27 あなたは、私のたましいをよみに捨て置かず、あなたにある敬虔な者に滅びをお見せにならないからです。

2:28 あなたは私に、いのちの道を知らせて下さいます。あなたの御前で、私を喜びで満たして下さい。』

2:29 兄弟たち。父祖ダビデについては、あなたがたに確信をもって言うことができます。彼は死んで葬られ、その墓は今日に至るまで私たちの間にあります。

2:30 彼は預言者でしたから、自分の子孫の一人を自分の王座に就かせると、神が誓われたことを知っていました。

2:31 それで、後のことを予見し、キリストの復活について、『彼はよみに捨て置かれず、そのからだは朽ちて滅びることがない』と語ったのです。

2:32 このイエスを、神はよみがえらせました。私たちはみな、そのことの証人です。

2:33 ですから、神の右に上げられたイエスが、約束された聖霊を御父から受けて、今あなたがたが目にし、耳にしている聖霊を注いで下さったのです。」

●ポイント1.主イエスの十字架前の一番近い奇跡とは？

※ヨハネの福音書11章38節～48節「ラザロのよみがえり」(新約p.206下)

●ポイント2. ペテロが引用したダビデの言葉とは？

※詩篇16篇8節～11節「ダビデのミクナム」(旧約p.945上段左側)

16:8 私はいつも主を前にしています。主が私の右におられるので私は揺るがされることはありません。

16:9 それゆえ私の心は喜び私の胸は喜びにあふれます。私の身も安らかに住まいます。

16:10 あなたは私のたましいをよみに捨て置かずあなたにある敬虔な者に滅びをお見せにならないからです。

16:11 あなたは私にいのちの道を知らせて下さいます。満ち足りた喜びがあなたの御前にあり楽しみがあなたの右にとこしえにあります。

◎先週のメッセージの概要【新しいぶどう酒】

《「見なさい。この人たちは皆ガリラヤ人ではないか。それなのに、私たちそれぞれが生まれた国の言葉で話を聞くと、いったいどうしたことか。」集まって来たユダヤ人たちは驚き惑いました。しかし中には、「彼らは新しいぶどう酒に酔っているのだ」と言って、あざける者たちもいたのです。

主イエスに対して、人は二つのうちどちらかの態度を選ばなければなりません。「信じて受け入れる」か、もしくは「信じないで拒否する」のか。

「イエスと私とは無関係だ。」とその人がいくら主張したとしても、神様の側からは、そうはいかないのです。なぜならペテロが、イタリア隊百人隊長コルネリオに、「神はえこひいきをする方ではなく、どこの国の人であっても、神を恐れ正義を行なう人は、神に受け入れられます。イエス・キリストはすべての人の主です。」と語った言葉は、まことの真理だからです。「彼らは新しいぶどう酒に酔っているのだ。」と、ユダヤ人は言いました。

この言葉が、なぜかペテロの耳に入ったのです。するとペテロは、他の弟子と共に、泊まっている家の二階の屋上に立ち、こう言ったのです。「ユダヤの皆さん、ならびにエルサレムに住むすべての皆さん、あなたがたにこのことを知っていただきたい。今は朝の九時ですから、この人たちは、あなたがたが思っているように酔っているではありません。これは、預言者ヨエルによって語られたことです。」と。

何とその後、ペテロは「ヨエル書」を引用するのです。彼は無学です。ガリラヤの単なる漁師です。しかしペテロが暗誦した言葉は、ほぼヨエル書そのままです。まさに聖霊の成せる御わざです。主イエス様が約束された通り、聖霊は、すべてのことを思い起こさせて下さるのです。

パウロは、「ぶどう酒に酔ってははいけません。むしろ、御霊に満たされなさい。」と勧めています。確かに「新しいぶどう酒」は喜びを与えてくれます。しかし御霊は、さらなる「まったき喜び」を与えて下さるからです。》

◎お知らせ

※次回「第四主日礼拝」は、6月28日(日)教会にて行ないません。しばらくの間、夜の第二礼拝はお休みいたします。また「聖書の学びと祈り会」も、しばらくの間、各家庭にて分かれて行なうことに変更いたします。